

お客様各位

セイコーソリューションズ株式会社

## Time Server Pro. (TS-2922/TS-2924) システムソフトウェア リリースノート

---

Version 3.0 (2025/12/26)

---

### 1 機能拡張

#### a. VLAN 機能の追加

Default Profile を使用する際に VLAN の設定が可能になりました。

create ptpd コマンドで vif インターフェイスを指定することで、当該 vif の VID を持った VLAN タグで PTP 通信が可能になります。

#### b. ZTP (Zero Touch Provisioning) 機能の追加

本機能はネットワーク機器に対する設定作業を自動化する機能です。

本装置をネットワークに接続して起動するだけで、自動的にファームウェアおよび設定ファイルを取得し、本装置に反映させることができます。

#### c. NTP サーバー機能の追加

本機能の追加に伴い、関連する CLI コマンドを追加、変更しました。

### 2 機能改善

#### a. UTC オフセットの初期値変更

PTP の UTC オフセット値の初期値を 35 秒から 37 秒に変更しました。

UTC オフセット値は GNSS に同期後、GNSS から受信した値に更新されます。

#### b. GNSS 同期維持性能の向上

GNSS から受信する情報の正常性をより厳密に評価し、異常情報の排除機能を強化しました。

---

Version 2.1 (2025/8/29)

---

## 1 機能拡張

### a. 最大 Active ノード数の拡張

Telecom Profile G.8265.1において、設定可能な最大 Active ノード数として 300 ノードの設定値を追加しました。

300 ノードを設定した場合、Sync メッセージ、Delay\_Response メッセージの最大送信レートは最大 64 パケット/秒となります。

## 2 機能改善

### a. GNSS 同期維持性能の向上

検出した異常衛星を測位対象から排除する機能を強化しました。

最大 4 つまでの異常衛星を排除することができ、異常衛星の排除および排除状態の解除メッセージを console 出力、SYSLOG 転送、show log console コマンドにより確認することが可能になります。

### b. ホールドオーバー拡張モードの追加

拡張モードを有効化することにより、5 つ以上の異常衛星が検出された場合に、自律的にホールドオーバーモードに遷移することが可能になります。

異常衛星が 4 つ以下となった後、GNSS 同期状態は衛星の測位状況に応じて遷移します。

### c. UTC オフセットの受信ロジックを改善

GPS/QZSS/Galileo 衛星から 12.5 分毎に通知される UTC オフセット情報の受信ロジックを改善しました。

本機能改善により、GNSS 同期状態が SYNC に遷移するまでの時間が短縮されます。

以上